



ほけんだより 3月



2017/3/1 厚生館保育園

3月5日は暦の上での「啓蟄」春の訪れをまって、冬ごもりをしていた動物たちが一斉に土の外にはい出てくるといわれています。まだ、寒い日もありますが、春はそこまできています。

この3月で、はと組さんは保育園を巣立っていきます。うれしいことでもあり、寂しいことでも……。いつもワイワイ、ガヤガヤのもも組での身体測定……。

「もも組の身体測定も残すところ後、1回になりました。3月の身体測定が終わったら、はと組になります。」と、言ったところ急に静かになり1回も注意されることなく無事終了！！

はと組になるということをかかなり意識もし、子どもたちなりに緊張もしている姿が垣間見られた瞬間でした。この一年で一回り大きくなった子どもたち、成長が楽しみです♥♥♥♥

2月の感染症

インフルエンザ：1名 溶連菌感染症の疑い：1名

この一年感染症の数としては13種類、重複も含め89人の子どもが感染症に罹りました。クラス内での感染はあったものの園全体での蔓延もなく収束しました。感染予防に努めていただき、ありがとうございました。インフルエンザに関しても2月後半から警報が解除されました。

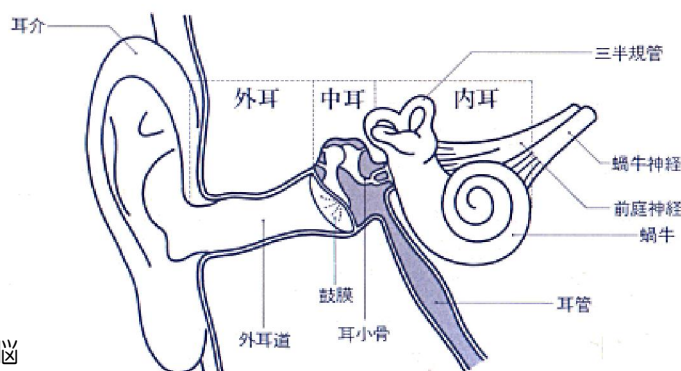
・・・3月3日は「耳の日」です・・・

今回は、2月7日、はと組で「耳」についての保健指導の場面
右の図を見せながらの話です。

話声、自然の音、危険が分かるのも
耳の働きがあるからです。

耳の聞こえ方

- ・耳介で音を集め、その音は外耳の道を通して、鼓膜を震えさせて、耳小骨に伝わって、蝸牛（かたつむり官）に伝わり、神経を通り脳で音を聞き分けます。



耳には、もう一つの大事な働き

・三半規管というところで、体のバランスを取っています。自転車に乗れるのも、片足で立てるのも三半規管がバランスを取ってくれます。

ブランコを漕いで気持ちが悪くなる、車に乗って気持ちが悪くなるのは三半規管がいたずらをしているからです。

耳は大事なところなので、耳の近くで大声を上げる、耳をたたいたりすると、鼓膜が破れてしまう危険があるのでやめましょう。鼓膜が破れると耳が聞こえなくなってしまうです。

と、云う話をしました。難しく感じられると思いますが図を見せながらなので、耳の聞こえ方や三半規管の働きについても理解をしていました。

年長児になると、意外に難しい話でも分かっていて、話を先取りする姿もありました。



※図を見るとわかるように、鼓膜の内側が中耳です。耳は目、鼻、口と細い管でつながっているの、鼻汁がずっと出ていて治らないと中耳炎を発症、鼻汁が喉に流れて行くと咳が酷くなり、鼻汁が目に入ると目やにになります。鼻汁が中々治らない時は、耳鼻科に受診をすることをお勧めします。



3月の保健行事

- 1日(木) 身体測定(5才児)
- 3日(金) 地域身体測定
- 7日(火) 身体測定(2~4才児)
- 8日(水) 身体測定(0,1才児)
- 10日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 13日(月) 地域・0才児健診
- 17日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 24日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 31日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談



花粉症チェック!



花粉症に悩む人が多くなっています。「自分や子どもは大丈夫」と思っていないですか? 下の表でチェックしてみてください。

- かぜのような症状が長引いている
- さらさらした鼻水が出る
- ひどい鼻詰まり
- 目がかゆい
- くしゃみが続けて出る
- 毎年同じ時期に同じ症状が出る
- 家族にアレルギー体質の人がいる



2つ以上チェックが入った場合は、花粉症かもしれません。早めに眼科や耳鼻科の受診をお勧めします